

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 令和4年3月16日(水)
11時00分から11時23分まで
- 2 場 所 東京都住宅供給公社 特別会議室
東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山4階

3 出席者

理事長	中井敬三	理事	松丸俊之
理事	佐藤千佳	理事	千葉裕
理事	久保田浩二	監事	居原健一

理事の総数4名 出席理事の数4名(うちオンライン出席1名)

以上のおり、出席があり、理事会規程第五条第二項により理事会は成立した。
定刻、理事長中井敬三が議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

4 議 案

第1号議案 令和4年度 事業計画について
第2号議案 令和4年度 予算について

5 議事内容

(1) 第1号議案、第2号議案について

議長は、第1号議案、第2号議案について一括して事務局から説明を受け、その後意見を受けることを確認し、事務局が第1号議案、第2号議案について説明した。

続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のおり発言があった。

<久保田理事意見>

令和4年度事業計画について、公社住宅管理事業の営繕業務の中で、太陽光発電設備について記載されており、この取組は、公社住宅に再生可能エネルギーの普及に向けて太陽光発電設備の設置を進めていく目的もありますが、様々な施工の課題やコストの課題などを検証したうえで、民間の共同住宅に再生可能エネルギーの普及に向けた太陽光発電設備の設置を進められる環境を醸成していくことも目的としているので、着実に進めていただきたい。また、都営住宅についても、来年度、住宅事業の中で相当数の既存住宅に太陽光発電設備の設置を進めていきますが、こちらも同じように検証したうえで、さらに増やしていただきたい。

この2つの取組は、本年度末に策定を予定している住宅マスタープランにおいて、住宅市街地のゼロエミッション化という目標をかかげており、それに向けた取組の一環ですので、来年度、着実に進めていただきたい。

<理事長意見>

久保田理事から公社住宅ならびに都営住宅における令和4年度の太陽光発電設備の設置についてのご意見をいただきました。当社において、これまでもCO₂削減、環境配慮事業に取り組んできたところですが、本件については、それをさらに加速させていく意味でも当社にとって大変重要な意義のある事業であります。すでにその準備作業に入っているところですが、引き続き東京都としっかりと連携していきながら、遅れることなく大きな成果がだせるよう社をあげて取り組んでいきますので、関係理事並びに所管部において、引き続きよろしく申し上げます。

他に意見等が無かったため、議長は、第1議案、第2号議案についてその可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

6 議事終了後の発言

理事長から以下のとおり発言があった。

新年度、本理事会で決定した令和4年度事業計画及び予算に従いまして円滑な事業執行をお願いします。当社を取り巻く状況は、これまで新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、これについて大きな流れとしては、収束、落ち着きの方向にあります。その一方で、ウクライナなど国際情勢は激動の様相を呈しており、世界的なインフレ傾向が一段と強まっている状況です。また、長期金利も上昇の気配が強くなってきており、当社を取り巻く経営環境は不透明であると同時に、一段と厳しい方向に推移しております。つきましては、計画に沿って事業を進めていくと同時に、時々状況変化をしっかりと把握し、必要な対応については遅れることなく対応していくよう、各理事ならびに各所管部の方々にお願いいたします。